

## 自己評価の分析と課題及びその改善策

### 1 学校教育目標

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 0.1 ポイント低下の項目は、教員側の（NO.1・3）の内容項目であり、厳しい自己評価がなされた結果であると受け止め、次年度に期待したい。</li> <li>○ 保護者と共有していくことは、今後も必要不可欠なことなので、具体策を講じて一層の浸透を図りたい。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育目標、目指す学区増と教育活動の連鎖が図られた計画、実践、評価を行うこと。</li> <li>○ 保護者への意識化を図り、学校教育目標、目指す学校像を共有して教育活動をすすめること。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正面掲示板・生徒の昇降口への掲示</li> <li>○ 教育活動計画の立案にあたり、学校教育目標、目指すが構造とのかかわりについて具体的に明記するとともに、実施後の評価を行う。（PDCAサイクルを機能させる。）</li> <li>○ 視覚優位を考慮し、保護者来校時、視認できる場所に掲示する。</li> <li>○ 年度当初の保護者会で周知し、学期末や学年末の保護者会において、学校教育目標や目指す学校像を踏まえて、成長や課題を共有する。</li> <li>○ 学年だよりの内容について、学校教育目標や目指す学校像と関連づけた記事内容を掲載する。</li> </ul>

### 2 学級・学年経営

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仕事の偏りは確かに感じるが、分担しても出来ない場合には、また手伝うことになり、二度手間になっている現状がある。結局また偏ってします。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業務の偏り</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年日報の配付。</li> <li>○ 仕事を減らす努力をする。働き方改革、負担軽減の意識改革として、これは必要なのかという意識で、各業務を見直し、少しずつでも働き方を改善していく努力をする。</li> <li>○ 学年で平等な仕事分担。分掌での平等な仕事分担。みんなで心がけ、任された仕事は責任を持ってやり遂げる。</li> <li>○ 仕事は、2～3名で分担し、主は副に仕事を分担する。</li> <li>○ 「企画」と「実働」を分けて考え、企画は数名で、実働は全員で。</li> </ul>

### 3 生徒指導

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どの項目も昨年度よりもアップしたことは、お互いの取り組みを認めあえているということだと思うので、素直に喜ぶべきだと思う。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雨天時の生徒の下校の服装を自己判断にゆだねること。</li> <li>○ 保護者との信頼関係、価値観の違い</li> </ul>

改善策	<p>○ 帰るころに雨が降ることが予想されるのであれば、傘を用意できることが望ましいと思います。しかし、それができなかった生徒に対する救済措置がジャージ下校です。と考えると、放送で統一することがよいことなのではないでしょうか？傘を差し制服で帰る生徒に何と声を掛けますか？傘を忘れジャージで帰る生徒に何と声を掛けますか？その声かけで人間関係が生まれ、生徒を成長させられると思うのですが。</p> <p>生徒の主体的な判断を大切にしながら、その判断が大人の感覚に近づくような指導を全員が行うという共通理解でいきましょう。指導の仕方は、その教員の特性（年齢、教職経験、男女差等）があるので、それを大切にしながら進めましょう。</p> <p>〈教育課程検討委員会から〉</p> <p>◇ 年齢や立場によって、こうした指導の難しい場合もあるのではないかと。学年主任と、2・3年目の若手とでは、言えることと言えないことの違いがあるので、方針は生徒指導部の方向性でよいと思うが、微妙なとき（小雨、止みそうだ等）は、放送を流すほうが共通行動をとれるのではないかと。</p> <p>○ 教師と保護者は敵対関係ではありません。同じ方向を見て、生徒を自立・自律させるために協力すべきです。そのなかで、学校でできること、できないこと、家庭でできること、できないことがあるので、生徒を支援していくためには話し合いが必要です。そこから保護者との信頼関係が生まれると思います。</p> <p>また、立場が違うので、価値観は違って当たり前だと思います。だから、自分の価値観を伝える前に、保護者がなぜそう感じるかを訊いてみましょう。そして、どうすべきかを相談しましょう。</p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 4 教育相談

分析	○ 生徒へ生活アンケートの内容の見直し、結果に対しての対応を迅速に行うなど、改善を図ったことで、集計結果がよくなったのではないかと考える。
課題	○ アンケート集計を迅速に行う。 ○ 相談部会で挙げられている生徒への対応策が示されていない。
改善策	○ 各学年間の連絡を密に行う。 ○ 相談部会で対策案について話し合う。 ○ 学年会などで方向性を検討し、担当者につないでいく。

#### 5 校内研修

分析	○ 昨年度は、市委嘱の研究が中心だったので、比較は難しいが、どの項目も昨年度の平均を上回った。
課題	○ 数値的に上がったものの、中味を振り返ると、年度当初立てた計画通りに実施できていないものもある。内容も含め見直しが必要。
改善策	○ 学校教育目標にそった内容、新学習指導要領実施に向けた内容を、研修委員を中心に精査し、実施していく。 ○ 中・長期的な計画をしていく。

## 6 人権教育

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体として「3」の評価が多い。</li> <li>○ 「2」の評価があるのは、「(16)計画的重点的な取組」だけで、数も「11」と少ない。</li> <li>○ 計画的、重点的な取組が0.1アップしているが、「2」が11個と多い。</li> <li>○ 全体平均が「3.1」と昨年よりは上がっているが、満足のいく数字ではない。</li> <li>○ 夏休みの研修で以下のことを行ったが、感想がゼロでした。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 出張でいただいた文書をコピーし、担当の先生から丁寧に説明してもらった。担当の先生は、シナリオまで用意して発表してくれた。</li> <li>② 人権に関する道徳授業を模擬授業のかたちで提案した。(追って試してくれた先生も2名いらっしゃいました。)</li> </ul> </li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権教育を行う場が少ない。</li> <li>○ 計画的、重点的な取り組みを行っていく。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習の時間、もしくは道徳の時間を使いながら、人権教育を行うための場を設ける。</li> <li>○ 人権作文を書く取り組みを4月の総合的な学習の時間や道徳の時間を使って行っていく。</li> <li>○ 可能であるならば、11月の人権週間の取り組みを行いたい。</li> </ul>

## 7 学習指導

分析	<p>○ 全体平均としては、昨年度と変わらない結果となった。項目別にみると、生徒主導の活動と、指導力向上のための活動が向上した。しかし、生徒指導の活動については、項目別ではかより低いため、引き続き改善をしていく必要がある。下がった項目としては、基礎・基本の定着と授業規律があり、とくに基礎・基本の定着については、改善の余地がある結果となっている。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎・基本の定着</li> <li>○ 主体的な活動を行うための授業研究。</li> <li>○ 授業の様子を保護者にうまく伝えられていない。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎・基本の定着のための教材研究の時間の確保（小テストの実施など）</li> <li>○ 主体的活動を行うための授業研究。</li> <li>○ 授業参観と学級懇談をセットにする。</li> </ul> <p>&lt;教育課程検討委員会から&gt;</p> <p>◇ これまでどおり、年2回（PTA総会と土曜参観）の授業参観を行う。</p>

## 8 進路指導

分析	<p>○ 各学年ごとのメインの取り組みにおいて、ねらいが明確化し、それぞれがよい活動をしている。また、その学年に応じた取り組み方で生徒の力を伸ばしていると思われる。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者に情報が伝わらない。</li> </ul>

改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プリントや参加希望も出しているが、生徒から保護者へ伝達できていないということがあります。進路・キャリアに限ったことではない。しかし、保護者会を利用し、そこで、取り組み方や内容を伝える場面を作ることが大切であろう。</li> </ul> <p>&lt;教育課程検討委員会から&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 本校のウェブサイトへの掲載によって情報を直接保護者に届けることも考える。そのためにも、校長への情報提供をお願いしたい。</li> </ul>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 9 道徳教育

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「特別の教科 道徳」を意識し授業を行っている。校内研修を通して、学年間で相談し合いながら教材研究を進めており、指導力を高めている。</li> <li>○ 平成31年度より全面実施となるので、「評価」の仕方を検討していく。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 確実に道徳の時間を確保する。</li> <li>○ 「評価」の仕方を工夫する。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年で行う行事を道徳のねらいとリンクさせ、計画を立てて実践していく。</li> <li>○ 「評価」方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 評価の資料＝感想文（振り返り）／アンケート／ワークシートへの記述／授業中の発言や態度</li> <li>◇ 評価の仕方＝「学習活動内容、状況」＋「生徒の道徳性の変化、成長」</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;教育課程検討委員会から&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 通知票への「評価」記載は、3学期の最終1回ではどうか。</li> <li>◇ まずは、授業中の「学習活動の内容、状況」を記述するようにして、次年度以降に「道徳性の変化、成長」の記述を加味していく方向でどうだろうか。</li> </ul>

## 10 特別活動（学級活動）

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「よいところを認め合える集団作り」が1.0ポイントアップは素晴らしいと思います。先生がたの努力そのものだと思います。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 掲示物の充実が足りないとの指摘があった。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教室の掲示物を確認しましたが、大きな問題があるようには感じられませんでした。</li> <li>○ 学年ごとのフロアの掲示は、副担任を中心に計画的に作れるとよいと思います。</li> </ul>

## 11 特別活動（生徒会活動）

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度よりもポイントアップが見られたので、引き続き踏襲できるものはしていく。</li> </ul>
課題	特になし
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しいものを生み出すということよりも、それぞれの行事等において、質を高めていき、事前・事後活動に重きをおいていく。</li> </ul>

## 12 部活動

分析	○ 昨年度とおおむね同じ結果が得られた。
課題	○ 下校及び登校の時刻を守らせるよう、校門での見届け。 ○ 表彰集会で、返事の課題があった。
改善策	○ 下校時刻での校門での見届けをしましょう。 ○ 返事の指導として、部活動でもあいさつや返事の指導を徹底しましょう。 〈教育課程検討委員会から〉 ◇ 表彰前に、該当生徒に表彰のあることを伝え、返事の指導もしておく。

## 13 保健指導

分析	○ 全体的に評価が上がっている。日々の健康観察において、担任の指導もあり、しっかりと行われている。
課題	○ う歯の治療状況が昨年度よりも下がっている。
改善策	○ 全体に治療状況を知らせ、治療率アップを図りたい。う歯の多い生徒に個々に声かけを行う。 〈教育課程検討委員会での議論〉 ◇ ウェブサイトにも掲載し、保護者への啓もうを図ります。

## 14 学校安全

分析	○ 分掌の継続性を考慮していただいた人員配置で、学年間の連携やつながりを意識できる体制に整えられた。そのなかで、「(42)交通安全指導」が改善されたことは評価したい。一方、「(43)施設設備の安全」については、改善の余地があり、検討したい。
課題	○ 安全点検については、準備はしたが、実際的な活動ができなかった。
改善策	○ 次年度への担当者への引継ぎを行ったうえで ① 安全点検表を準備する。 ② 安全点検表を毎月定期的に配付し、回収を行う。 ③ 安全点検表を活用して、施設・設備の安全について配慮する。

## 15 給食・食育

分析	○ どの内容についても、評価が上がっているので、今年度行った取り組みを継続していきたい。
課題	○ 1年生の保護者から、テーブルクロスの使用が衛生的によくないのではないかという意見があった。 ○ 給食完食クラスに対し、調理員さんから気持ちを伝える場面を設けたい。
改善策	○ 衛生的に気になる場合は、テーブルクロスの上に、個人でランチクロスを敷いてもよいこととする。 ○ 完食をしたクラスに対し、調理員さんからのメッセージカードを次の日のワゴンに載せる。

## 16 ボランティア・福祉教育

分析	○ ボランティアの支援、推進、生徒の意欲の喚起ともに、少しずつではあるが、よりよい変化が見られた。
課題	○ 彩の国ボランティアについては、声かけのみにとどまった。
改善策	○ 掲示・配付物を活用して啓発していく。

## 17 清掃・環境教育

分析	1 昨年度と比べ、全体的に評価は上がっている。 2 (49)～(52)のうち、(52)が3.2と評価の中では一番低い。 以上の2点から、全体的に高い評価ではあるが、(52)の評価が上がるよう、美化ポスターの作成、掲示を継続したい。
課題	1 清掃用具の使い方が悪い。 2 清掃場所によって、しっかりとできている場所とできていない場所がある。
改善策	1 担任、担当から清掃用具を大切に使うよう指導する。 2 美化委員による定期的チェックをし、担当の先生から指導する。 <教育課程検討委員会から> ◇ 壊れやすい箒はなんとかならないものか。

## 18 家庭・地域との連携

分析	○ 全体的に平均を下回った。特に「地域の行事」(2.9pt)、「小学校との連携」(2.8pt) ○ 現状を見れば理解できる。「人材活用」(3.0pt)はもっと高いと思ったが・・・。
課題	○ 本年度の重点努力点のひとつ「保護者や地域との連携を深め、信頼される学校づくりの推進」を達成するためにも、上記の分析2項目は改善されなければならない。
改善策	○ 保護者が来校したときに「来てよかった」と思える保護者会、行事に。 ○ 地域行事をできるかぎり年間行事に組み込み、予定を立てやすくする。 ○ 長期休み中の小学校での中学生先生をもっとPRする。 ○ 小中教務主任会を開き、お互いに行き来する出前授業を企画する。

## 19 東中の特色

分析	○ 「文武両道」「教員と生徒の心地よい関係」が印象深い。
課題	○ 「学力向上」＝生徒が落ち着いているので、学力を上げる取り組みを工夫する。 ○ 「生徒指導」＝あいさつ、返事、生徒指導に対する共通理解
改善策	○ 「学力向上」 ◇ 基礎学力の定着→全校的な漢字コンテスト、スペコン、計算コンの全校的な取組。 ◇ 校内研修で各教科での生徒主導的学習（アクティブラーニング）研究を位置づける。 ◇ いつでもだれでも相互授業参観（短時間OK）。 ○ 「生徒指導」 ◇ 普段の朝の会、帰りの会、授業でのあいさつ指導の徹底（声が小さい、礼の姿勢が悪かったらやり直し） ◇ 困ったらすぐ相談。困っていたら話しかける。

## 20 その他

課題	○ 表彰集会の時間の短縮
改善策	○ 原則、登壇者は県大会（東部地区代表を含む）以上の大会出場者とする。 ○ 市内大会は呼名をするだけとする。 ◇ 関東大会、全国大会は当然登壇。 ◇ 当然、様々な教育的配慮をしていく。